



いのちに本気でよりそう府政へ

暮らしの悲鳴に応える時

減らされた保健所 元に戻して強化を

保健所のひっ迫が大問題になったのに、知事は「広域化のメリットが生かされた」と統廃合を合理化。危機的な事態をまともにつかんでいないことも明らかにな

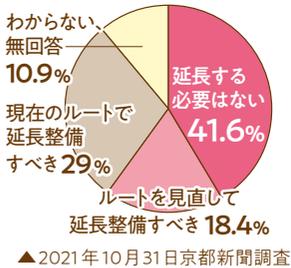
りました。あまりにも無責任です。いま、再び急速な感染拡大に直面しています。いのちを守る体制の立て直しこそ急務です。

京都府保健所	2003年以前 12 カ所	→	現在 7 カ所と 1 支所
京都市内	2003年以前 11 カ所	→	現在 1 カ所

こんなときに大型開発ですか？

2兆1千億円 北陸新幹線延伸

「反対」6割 もう中止しかない！



8割がトンネルで、残土処理や地下水への影響など、住民の不安は増すばかり。地元負担がどれだけ膨れ上がるかもわかりません。「国家プロジェクトだから」と、国に追随するだけの知事では困ります。疑問や不安に向きあい、きっぱり中止を求めるべきです。

北山エリア開発 植物園や大学を金儲けの場にするな



府民の憩いの場、落ち着いた文教地域に、1万人規模アリーナなど賑わい施設をつくる開発計画。反対署名が10万筆を超え、元植物園長をはじめ日本中から批判が寄せられています。ようやく開かれた住民説明会では、「これから検討」の一点張り。中身を隠して進めるやり方も許せません。いったん白紙に戻すべきです。

議会報告



京都市 右京区

日本共産党 府議6期

島田 けい子

しまだ 敬子

議員団副団長、府民環境・厚生常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会

島田けい子

9月定例会本会議一般質問に立ちました

北陸新幹線延伸に広がる不安。計画は中止を！

静岡県熱海市の盛土崩壊による土砂災害で人命が奪われる事態となり、北陸新幹線工事で発生する大量の残土処理がどうなるのか、住民の不安が一気に高まっています。住民合意なしにアセス本調査を進める整備機構を批判し、地方自治をも踏みにじる計画をなぜ認めるのかと、中止・撤回を求めました。知事は「慎重な調査と丁寧な説明」「環境保全の対応」と、同じ答弁を繰り返しました。



京北・美山のルート予定地や敦賀の工場現場(写真)などを調査しました。



「香害」や化学物質過敏症に苦しむ皆さんの声をお聞きし、府に対策を求めました。

医療的ケア児が安心して学び暮らせる支援を

24時間人工呼吸器を装着しているお子さんの特別支援学校への送迎を、お母さんが行っている現状があります。片道25分2往復、自分の車に吸引器や人工呼吸器を乗せ、モニターをチェックしながら運転をされます。呼吸がおかしくなれば路肩に停車し、呼吸を補助するなど、不安を抱えながらの送迎です。府の責任で通学や移動を保障すること、入所施設の整備や専門的技能を有する看護師の確保・増員などを求めました。

